

## 第42回施設園芸総合セミナー

ーテーマ：次世代に向けた施設生産の収益性向上ー

### WEB オンデマンド配信セミナーのご案内（開催方式の変更）

令和3年5月12日～13日に東京都江戸川区総合文化センターにおいて実施予定の第42回施設園芸総合セミナー・機器資材展については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、会場での講演会・機器資材展（会場開催）は中止といたします。

セミナー講演の配信については、参加申込者のご都合に合わせて視聴できるオンデマンド方式で、視聴期間を6月10日（水）～6月25日（金）といたします。既に参加申込をいただいた方には、事情をご理解の上参加いただきたく、また新たに参加申込も受け付けておりますので、よろしくお願い致します。

<講演動画の視聴期間> 令和3年(2021年)6月10(水)～6月25日(金)

<接続方法・リンク先> 別途、申込みいただいた方にご案内します。

<主催> 一般社団法人 日本施設園芸協会

<協賛> 全国農業協同組合連合会 (一社)全国農業改良普及支援協会  
全国野菜園芸技術研究会 (一社)農業電化協会

<参加費(テキスト資料代)>

一般6,000円(税込み) (協会会員・農業生産者は3,000円)

<参加申込み方法>

HPから「オンデマンド方式参加申込書」をメール添付で下記までお送りください。

■参加申込期限:令和3年5月31日(月)(延長しました)

申込者にテキスト資料代の振り込み先をお知らせいたします。

■資料代振込期限:令和3年6月3日(木)(延長しました)

振り込みの確認後、申込者にテキスト資料を送付し、接続方法をご案内いたします。

参加申込書の送付先・問合せ先

一般社団法人 日本施設園芸協会

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-6-17 TEL 03-3667-1631 FAX 03-3667-1632

E-mail [semi@jgha.com](mailto:semi@jgha.com)

<http://www.jgha.com> 参加案内・申込書は左記HPよりダウンロードできます

<セミナー講演の配信内容(予定)>

○ 開会挨拶（主催者挨拶、来賓挨拶）

<第1部>施設生産の先進技術と収益性向上

(1-1) 施設園芸施策の展開方向について ～施設園芸のスマート化の推進～

角張 徹 氏(農林水産省生産局園芸作物課 課長補佐)

(1-2) 農業データ連携基盤WAGRIの推進

川村 隆浩 氏(農研機構 企画戦略本部 データマネジメント管理役)

(1-3) 大規模トマト生産における多収生産と作業の合理化

西海健太 氏((有)アグリマインド明農菜園栽培技術グループマネージャ)

(1-4) 10のポイントで学ぶ構造優位を創る農業経営

岩佐 大輝 氏((株)GRA 代表取締役社長)

(1-5) JGHAが推奨する日本型大型(1ha)モデルハウス仕様と普及の取り組み

高市 益行 ((一社)日本施設園芸協会 常務理事兼参事)

<第2部> 葉菜類の施設生産と植物工場生産の動向

(2-1) 葉菜類の施設栽培と植物工場生産における現状と課題

丸尾 達 氏((公財)園芸植物育種研究所 理事長)

(2-2) ホウレンソウ養液栽培を中心とした多品目の周年生産

小屋垣内浩之(小屋垣内農園)

(2-3) ICT利用による大型ハウスにおけるレタスの生産性向上

嶋本 久二 氏(株)ひむか野菜光房 取締役/株)プランツ 専務取締役)

(2-4) 人工光型植物工場によるレタス類生産の大規模化と生産性向上

廣瀬 翔太 氏(株)木田屋商店 小浜植物工場グリーンランド 栽培技術部)

(2-5) 施設栽培・植物工場生産の葉菜類に期待される、コロナ下のフードバリューチェーンの変化と課題

阪下 利久 氏(オイシックス・ラ・大地(株) ファウンダー)

(2-6) パネルディスカッション「次世代に向けた葉菜類生産と植物工場生産の発展方向」

コーディネーター 高市 益行 (一社)日本施設園芸協会 常務兼参事)

パネラー 第二部の話題提供者、農林水産省施設園芸関係担当官

\* 上記の内容は、今後の諸事情により変更させていただくことがありますので、あらかじめご了解ください。

<第3部>施設園芸技術指導士資格取得者紹介

<第4部>関連企業によるセミナー参加者に向けたプレゼンテーション(予定)

【参加申込先・問い合わせ先】

第42回施設園芸技術総合セミナー事務局  
(一社)日本施設園芸協会 担当:高市、近野  
Tel 03-3667-1631  
e-mail [semi@jgha.com](mailto:semi@jgha.com)